

通所介護・宿泊サービス 重要事項説明書

1 当センターが提供するサービスについての相談窓口

電 話 0 5 9 7 - 3 7 - 4 1 6 5

担 当 東 絵美

※ご不明な点は何でもおたずねください。

2 あいあいの丘デイサービスの概要

(1) 提供できるサービスの種類

施 設 名 称	特定非営利活動法人あいあい あいあいの丘デイサービス
所 在 地	三重県尾鷲市矢浜四丁目1番46号
介護保険指定番号	2471000485 (通所介護)
サービスを提供する 対象地域	通所介護 宿泊サービス
	尾鷲市、紀北町

上記地域以外の方でもご相談ください。

(2) 同センターの職員体制

令和 7年11月 1日 現在

<通所介護・介護予防>

職 種	常 勤	非常勤	備 考
管 理 者	1 名		介護職員と兼務
生活相談員	2 名	2 名	内3名介護職員と兼務
介護職員	5 名	12 名	内1名管理者と兼務 内3名生活相談員と兼務 内1名宿泊サービス介護職員と兼務
看護職員		10 名	内3名機能訓練指導員と兼務
機能訓練指導員		5 名	内3名看護職員と兼務

<宿泊サービス>

職 種	常 勤	非常勤	備 考
責任者	1 名		
介護職員		10 名	

(3) 利用定員・営業時間

	通所介護	宿泊サービス
利用定員	30 名	5 名
休業日	8/13~8/15、12/30~1/3(但し、要相談)	なし

営業時間	午前8時30分～午後17時30分	
提供時間	午前9時～午後5時	午後5時～ 翌午前9時

(4) 同センターの設備概要

食堂兼機能訓練室	114.46㎡	相談室	1 室
浴 室	一般浴と特浴があります。	静養ベッド	2 床
		送迎車	4 台

3 サービス内容

サービス開始前に利用者の方やご家族、ケアマネジャー等とよく話し合い内容を決定します。「ケアの三原則（自己決定・能力の活用・生活の継続性）」を守り、利用者の自立した生活に向け援助します。

<通所介護>

- ① 送迎：送迎を必要とする利用者に対し、送迎サービス、移動、移乗介助等を行います。送迎エリア外利用者はご相談ください。
- ② 食事：栄養士が作成する献立を調理し、利用者の方の希望・好みに合せた食事を提供します。治療食はご相談下さい。
- ③ 入浴：利用者の状態に合せ一般浴、特浴を提供します。
- ④ 排泄：利用者の状態に合わせてトイレ介助、オムツ交換等の援助を行います。
- ⑤ 機能訓練：日常生活を営むのに必要な機能の低下を防ぐためのサービスを提供します。
- ⑥ 趣味活動：利用者の希望に添って諸活動を行います。
- ⑦ 生活相談：利用者及びその家族の日常生活における介護、環境整備、手続き等に関する相談、助言を行います。

<宿泊サービス>

- ① 送迎（通所介護利用日以外）
- ② 食事の提供
- ③ 就寝・起床・排せつ等の介助
- ④ 健康状態の確認

4 利用料金

(1) 利用料（自己負担 1 割の場合）

① 介護保険サービス

<通所介護の場合>

利用料は給付費の 1 割又は 2 割又は 3 割で、下記のとおりです。但し、介護保険の給付の範囲を超えたサービス利用は 5,045 円/日（内 625 円昼食代）時間外利用は 1 時間当たり 1,200 円となります。

基本料金	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
2 時間以上 3 時間未満	2 7 2 円	3 1 1 円	3 5 1 円	3 9 2 円	4 3 2 円
3 時間以上 4 時間未満	3 7 0 円	4 2 3 円	4 7 9 円	5 3 3 円	5 8 8 円
4 時間以上 5 時間未満	3 8 8 円	4 4 4 円	5 0 2 円	5 6 0 円	6 1 7 円
5 時間以上 6 時間未満	5 7 0 円	6 7 3 円	7 7 7 円	8 8 0 円	9 8 4 円
6 時間以上 7 時間未満	5 8 4 円	6 8 9 円	7 9 6 円	9 0 1 円	1, 0 0 8 円
7 時間以上 8 時間未満	6 5 8 円	7 7 7 円	9 0 0 円	1, 0 2 3 円	1, 1 4 8 円

8時間以上9時間未満	669円	791円	915円	1,041円	1,168円
------------	------	------	------	--------	--------

加算料金	昼食代	645円／回
	入浴加算	40円／日
	サービス提供体制強化加算Ⅰ	22円／日
	送迎減算	－47円／片道
	同一建物減算（サ高住のみ）	－94円／日
	若年性認知症利用者受入加算（対象者のみ）	60円／日
	高齢者虐待防止措置実施の有無：基準型	
	業務継続計画策定の有無：基準型	
	介護職員等職員処遇改善加算Ⅰ	1ヶ月利用料合計の9.2%
備 考	・送迎代は基本料金に含まれます。（実施地域以外の送迎代は除く） ・上記基本料金は1日分の利用料で、1割負担の場合です。	

<宿泊サービス>

宿泊費	一泊	2,200円
食 費	朝食	470円
	昼食	645円
	夕食	645円
洗濯料金（必要に応じ）	1回	110円

※送迎代 実施地域を超えた地点から片道1キロメートルごとに30円いただきます。なお、車輦に限りがあり、対応できない場合もありますのであらかじめご了承ください。

*介護度等変更により金額が変更になった場合は、重要事項説明書別紙にて署名をお願いします。なお、加算が変更した場合は文書にてお知らせします。

5 サービスの利用方法

(1) サービスの利用開始

まずは、お電話等でお申し込みください。職員がお伺いいたします。サービス提供が決まりましたら、契約を結び、通所介護計画・宿泊サービス計画を作成して、サービスの提供を開始します。すでに契約しているケアマネジャーがおられる場合は、当事業所と契約をする前にケアマネジャー等にご相談ください。

(2) サービスの終了

① 利用者のご都合でサービスを終了する場合

サービスを終了する日の1週間前までに文書でお申し出ください。

② 自動終了

以下の場合は、双方の通知がなくても、自動的にサービスを終了いたします。

- ・利用者が介護保険施設に入所した場合。但し、1年以内に利用者が介護保険施設を退所し再び居宅において日常生活を営む状況になった場合は、利用者と事業所の双方の合意により契約の継続が出来るものとします。
- ・介護保険給付でサービスを受けていた利用者の要介護認定区分が、非該当（自立）となった場合。
- ・利用者がお亡くなりになった場合。

③ その他

- ・当センターが正当な理由なくサービスを提供しない場合、守秘義務に反した場合、利用者やご家族などに対して社会通念を逸脱する行為を行った場合、またはやむを得ない事情により、当センターを閉鎖または縮小する場合、利用者は文書で解約を通知することによって即

座にサービスを終了することができます。

- ・ 利用者が、サービス料金の支払いを1ヶ月以上遅延し、料金を支払うよう催告したにもかかわらず15日以内に支払わない場合、または利用者やご家族などが当センターや当センターのサービス職員に対して本契約を継続し難いほどの背信行為を行った場合は、文書で通知することにより、即座に契約を終了させていただく場合がございます。

6 当センターの通所介護の特徴等

(1) 運営の方針

事業の実施にあつては、利用者の意思および人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。また、利用者のもっている能力に応じた、自立した生活ができるように援助いたします。当法人の持つ様々な機能を生かして、利用者の生活を援助します。

職員を対象にした研修会、学習会等を実施し、サービスの向上に努めます。

(2) サービス利用にあたっての留意事項

- ① 送迎時間につきましては、あらかじめ利用者の方と相談し連絡いたします。行事等を実施する時は通常の送迎時間と異なる場合がありますのでご注意ください。
- ② 食事のみのキャンセルはあらかじめご相談ください。
- ③ ケアプラン等に基づいた時間でのご利用になりますが、変更を希望される方は、ご相談ください。

7 緊急時の対応方法

サービスの提供中に容体の変化等があった場合、事前の打ち合わせにより、主治医、救急隊、親族、居宅介護支援事業者等へ連絡いたします。

8 事故発生時の対応

利用者に対する通所介護の提供により事故が発生した場合は、市町村、利用者の家族、利用者に係る居宅介護支援事業所等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じます。

また、利用者に対する通所介護の提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行います。事故に備えて下記の損害賠償保険に加入しています。

損害保険会社名：あいおいニッセイ同和損保

9 非常災害対策

- ① 事業所に災害対策に関する担当者（防火管理者）を置き、非常災害対策に関する取り組みを行います。

防火管理に関する担当者	尾上 友康
-------------	-------

- ② 非常災害に関する具体的計画を立て、非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを定期的に従業員に周知します。
- ③ 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行います。（毎年2回 5月・10月）
- ④ 訓練の実施に当たって、地域住民の参加が得られるよう連携に努めます。

10 虐待防止

事業者は、利用者等の人権の擁護・虐待の発生又はその再発を防止するために、次に掲げるとおり必要な措置を講じます。

- ① 虐待防止に関する担当者を選定しています。

虐待防止に関する担当者	管理者 東 絵美
-------------	----------

- ② 虐待防止のための対策を検討する委員会を年1回以上定期的に開催し、その結果について従

業者に周知徹底を図っています。

③ 虐待防止のための指針の整備をしています。

④ 従業者に対して、虐待を防止するために年1回以上定期的な研修を実施するとともに新規採用時には必ず実施します。

⑤ サービス提供中に、当該事業所従業者又は養護者（現に養護している家族・親族・同居人等）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報します。

11 身体拘束について

事業者は、原則として利用者に対して身体拘束を行いません。ただし、自傷他害等のおそれがある場合など、利用者本人または他人の生命・身体に対して危険が及ぶことが考えられるときは、利用者に対して説明し同意を得た上で、次に掲げることに留意して、必要最小限の範囲内で行うことがあります。その場合は、身体拘束を行った日時、理由及び態様等についての記録を行います。また事業者として、身体拘束をなくしていくための取り組みを積極的に行います。

① 緊急性…直ちに身体拘束を行わなければ、利用者本人または他人の生命・身体に危険が及ぶことが考えられる場合に限ります。

② 非代替性…身体拘束以外に、利用者本人または他人の生命・身体に対して危険が及ぶことを防止することができない場合に限ります。

③ 一時性…利用者本人または他人の生命・身体に対して危険が及ぶことがなくなった場合は、直ちに身体拘束を解きます。

12 衛生管理等について

（1）利用者の使用する施設、食器その他設備又は飲用に供する水等について、衛生的な管理に努め、又は衛生上必要な措置を講じます。

（2）事業所において感染症が発生し、又はまん延しないように、次に掲げる措置を講じます。

① 事業所における感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会をおおむね3月に1回以上開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底します。

② 事業所における感染症の予防及びまん延防止のための指針を整備しています。

③ 従業者に対し、感染症の予防及びまん延防止のための研修を定期的実施します。

13 業務継続計画の策定等について

（1）感染症や非常災害の発生時において、利用者に対する通所介護・宿泊サービスの提供を継続的に実施するため及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（業務継続計画）を策定し、当該業務継続計画に従って必要な措置を講じます。

（2）従業者に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施します。

（3）定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行います。

14 サービス内容に関する苦情

通所介護・宿泊サービスに関する相談、要望、苦情等は下記の相談窓口担当までお申し込みください。

あいあいの丘デイサービス	担当	東 絵美
電 話	0597-37-4165	FAX 0597-37-4188
受付時間	午前9時～午後5時（月曜日～金曜日）	

当事業所以外に、下記の相談・苦情窓口で苦情を伝えることができます。

紀北広域連合 電話 0597-35-0888

三重県国民健康保険団体連合会苦情窓口 電話 059-222-4165

尾鷲市福祉保健課 電話 0597-23-8201

紀北町福祉保健課 電話 0597-46-3122

15 ハラスメント等

事業所は、適切な通所介護・宿泊サービスの提供を確保する観点から、職場において行われる性的な言動または優越的な関係を背景とした言動であつて、業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより従業者の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じるものとします。

16 法人の概要

法人名称	特定非営利活動法人あいあい
代表者	理事長 湯浅しおり
法人本部所在地	三重県尾鷲市矢浜一丁目15番45号
電話番号	0597-23-3007
法人設立	平成12年12月

令和 年 月 日

通所介護・宿泊サービスの提供開始にあたり、利用者に対して契約書および本書面に基づいて重要な事項を説明しました。

事業所

所在地 三重県尾鷲市矢浜四丁目1番46号

名称 あいあいの丘デイサービス

説明者氏名

私は、契約書および本書面により、事業所から通所介護・宿泊サービスについて重要事項の説明を受けました。

利用者氏名

代筆者氏名

(続柄)